

監督競技者注意事項

下野市大松山運動公園陸上競技場

1 規 則

競技は2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。

2 練習について

- (1) 練習は競技者のみとする。
- (2) 練習会場について
 - ①隣接の多目的グラウンドは使用できない。また、主競技場内の芝生に立ち入ることはできない。
 - ②外周コースは、個人でのジョグのみとし、集団走や流し等を行わない。
 - ③100・200mおよびハードル競技中のみ、バックストレートを全レーン開放する。（一方向のみとし、流しやドリルのみ。ジョグはしない。）
 - ④③以外の競技中のバックストレート使用については、原則6～8レーンとし、使用については競技役員の指示に従う。
 - ⑤主競技場での練習は、7時30分～8時45分（競技開始15分前）まで可とする。
- (3) 会場内へは、備え付けの用具以外の持ち込みを禁止する（ただし、棒高跳用ポール、バトン、ストップウォッチは除く）。
- (4) 全ての練習は、競技役員及び係の指示によって行うものとするが、監督、競技者も危険防止を十分留意する。
- (5) 砲丸投の練習について
 - ①主競技場以外での練習は禁止する。
 - ②招集後のピットのみで行い、それ以外では行わない。

3 競技場について・使用する競技用靴について

- (1) 本競技場は全天候舗装であるので、靴底から外部に出ているスパイクの長さは9mmを超えてはならない。また走高跳およびやり投の場合は、12mmを超えてはならない。なお、スパイクピンの数は、11本以内とする。
- (2) 靴底の厚さは以下のとおりとする。
800m未満のトラック種目とフィールド種目：20mm以内
800m以上のトラック種目：25mm以内
ただし、フィールド競技用シューズTR5.5については適用を除外する。
- (3) 規程のシューズを使用していることを前提にチェックは行わないが、審判員の権限により求められた場合はシューズチェックを行う場合もある。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは胸と背に1枚ずつ確実につけること。女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- (2) トラック種目では、腰ナンバー標識を右腰後方につけること。腰ナンバー第3ゲート（200mスタート地点）付近にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。安全ピンは競技者各自で用意すること。
- (3) 写真判定の妨げとなるので、腰ナンバー標識が隠れないようにすること。

5 招集について

- (1) 競技者は、招集完了時刻10分前までに、現地に集合する。また、トラック種目に出場する選手は、第3ゲート(200mスタート地点)付近にて、腰ナンバー標識を各自受け取ること。
- (2) 入場の際には、現地に一番近いゲートから競技場内に入場する。なお、トラックを横断する際には、周囲の状況をよく確認し、安全に気を付ける。(芝生への立ち入り禁止。)
- (3) 招集は、本人が各競技場所において招集を受ける。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、当該審判主任に申し出て了解を受ける。この場合は、代理人を認める。
- (4) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を許さない。(尚、事前に棄権することが明らかなき場合は招集完了時刻までに招集所へ申し出る。その際、代理人も認める。)
- (5) 四種競技出場者は全ての種目において、現地にて混成競技系の点呼を受ける。もしも2種目目以降を棄権する際は、混成競技係に申し出る。
- (6) 招集時刻は下記のとおりである。時間は競技開始時刻を基準とする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
走高跳・走幅跳	50分前	40分前
棒高跳	70分前	60分前
砲丸投	60分前	50分前

※四種競技の招集完了時刻は、トラックは15分前、フィールドは20分前とし、現地で行う。

6 入・退場について

競技者は招集完了時刻までに各自で現地に移動し、競技終了後も係員の指示に従い規律ある行動をとること。

7 競技方法について

- (1) スタート合図はイングリッシュコマンド(On your marks:オン・ユア・マークス, Set:セット)で行う。不正スタートについて、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
- (2) トラック競技予選の走路順、フィールド競技試技順序はプログラム記載の上から下の順序にする。
- (3) リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、招集完了1時間前に記録室に提出する。(リレーオーダー用紙は、記録室に用意する。)
- (4) 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。ただし、諸条件(悪天候)などにより、審判長の判断で高さを変更することもある。下記以降の高さについては、競技者と相談する。

種目	練習	競技
男子走高跳	1.30 1.50	1.35 ~ 1.40 ~ 1.45 ~ 1.50 ~ 1.60 ~ 1.65 ~ 1.70 ~
女子走高跳	1.15 1.40	1.20 ~ 1.25 ~ 1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.45 ~ 1.50 ~
男子棒高跳	2.20	2.30 ~ 2.40 ~ 2.50 ~ 2.60 ~ 2.70 ~ 2.80 ~ 2.90 ~
四種男子走高跳	1.25	1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.45 ~ 1.50 ~ 1.55 ~ 1.58 ~
四種女子走高跳	1.10	1.15 ~ 1.20 ~ 1.25 ~ 1.30 ~ 1.35 ~ 1.40 ~ 1.43 ~

- ①最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があればTR26.4.1, TR26.4.2を適応しないで、県記録を超える高さにバーを上げることができる。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳2cm, 棒高跳5cmとする。

8 用器具について

- (1) 用器具は、競技場のものを使用する。ただし、棒高跳のポールは招集後に現地で検査を行う。合格したものに限り個人所有のものを使用することを認めるが、競技進行中跳躍審判員が随時点検する。
- (2) 棒高跳・砲丸投における滑り止め（炭酸マグネシウム）は主催者では準備しない。滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参すること。なお、他の競技者と共有しないこと。

9 その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、現地の係員に申し出ること。
- (2) 医務室は、スタンド下に置く。
- (3) 更衣については、メインスタンド下更衣室を使用してもよいが、長時間の滞在をしないこと。
- (4) 盗難防止については、各自注意すること。不審な行動を見かけたら、近くの競技役員まで知らせること。
- (5) 競技場内は、競技者、競技役員、生徒役員以外は立ち入らないこと。
- (6) メインスタンドには、スパイクで入らないこと。
- (7) 声を出しての応援は禁止する。
- (8) ごみは、必ず持ち帰ること。
- (9) 商標の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。（例：上半身・下半身の衣類は、製造会社名／ロゴは1カ所－40cm²以内。バッグ類は、製造会社名／ロゴは2カ所－それぞれ40cm²以内）
- (10) ピットについて
走高跳 正面スタンドから見て右側 Aゾーン
 〳 左側 Bゾーン
走幅跳 メインスタンド寄り Aピット
 トラック寄り Bピット
砲丸投 正面スタンドから見て右側 Bゾーン
- (12) 各校のベンチは、ホームストレート以外の芝生スタンドとする。
- (13) 横断幕・のぼりの設置は指定された場所のみとし、スタンドの前面の設置は禁止とする。
- (14) 各校のリレーで使用するスタート用のマークは、白色のテープを使用すること。
- (15) トイレは、スタンド内は競技役員専用とする。選手は、競技場外にあるトイレを利用すること。

10 大会運営について

原則として、期日は延長しないものとし、下記の条件に従って主催者側で決定し、3月12日(日)には終了する。

- (1) 状況に応じて、競技日程を変更したり、競技を中止したりする場合がある。
- (2) フィールド種目は全員が終了したラウンドや高さで順位を決定する場合がある。